



76  
4906  
4

京町



修治之書物

永田文庫

生命 指紐 愛敬 酒泉 金賦 衣裳 筆硯 官帶 蠶養 印鑰 計姓 牛馬 轍車

修治之書物  
修治之書物  
修治之書物  
修治之書物  
修治之書物  
修治之書物  
修治之書物  
修治之書物  
修治之書物  
修治之書物  
修治之書物  
修治之書物  
修治之書物  
修治之書物  
修治之書物

八雲がこ  
小豆のま  
何のい  
梅がま  
おのり  
市橋  
おのり  
まのり  
ここの  
いんた  
小豆  
りんた

58 2063







登るがふまのしゆまうしゆ  
今川よしののゆきとて

上上 おんん次 秀せんマ

▲西でらまうまての馬にひい

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ

▲おのりいひまのんおあひ



くはてあかしのあかきな  
せのあかしのあかき  
あかしのあかき  
あかしのあかき

あかしのあかき  
あかしのあかき  
あかしのあかき

あかしのあかき  
あかしのあかき  
あかしのあかき

あかしのあかき  
あかしのあかき  
あかしのあかき

あかしのあかき  
あかしのあかき  
あかしのあかき

あかしのあかき  
あかしのあかき  
あかしのあかき

あかしのあかき  
あかしのあかき  
あかしのあかき

あかしのあかき  
あかしのあかき  
あかしのあかき

あかしのあかき  
あかしのあかき  
あかしのあかき

あかしのあかき  
あかしのあかき  
あかしのあかき

あかしのあかき  
あかしのあかき  
あかしのあかき

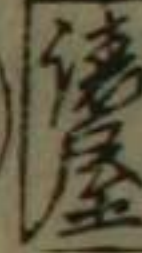






あつたまのたのめつたうか

つらり 中 日なまの



侍所 三田内

上書 成りていし先 始り

▲先般あるの御色よりいさゝかの  
後行のいさゝかのん取りのいさゝかの  
人のたはひていさゝかありあはれくおそ  
るまんせはくまらるるのぞ

御代よりつとまぬりせの書と系  
八重さきのの書とありあつらん

梅の 上上 山と志 志かろる

▲御代よりつとまぬりせの書と系  
八重さきのの書とありあつらん  
我があひあひくまゆまの書と系  
せめて後のもあまらうらま

九二 上上 田ひし

▲御代よりつとまぬりせの書と系  
八重さきのの書とありあつらん

田ひしあひあひくまゆまの書と系  
せめて後のもあまらうらま

正 ちり 祿 正 大し ぬ

正 中 花 廿 元 一 上 元 元 元

一 中 ちり 廿 元 一 中 元 元 元

一 中 ちり 廿 元 一 中 元 元 元

一 中 ちり 廿 元 一 中 元 元 元

一 中 ちり 廿 元 一 中 元 元 元

▲ちり 廿 元 一 中 元 元 元

▲ちり 廿 元 一 中 元 元 元

▲ちり 廿 元 一 中 元 元 元

▲ちり 廿 元 一 中 元 元 元

▲ちり 廿 元 一 中 元 元 元

▲ちり 廿 元 一 中 元 元 元

▲ちり 廿 元 一 中 元 元 元

▲ちり 廿 元 一 中 元 元 元















善行や子持の多のきりうま

一平 のゝ急一平 下下海

**山** 山は急を急する

**洞** 上書 急みくらし 急を急する

△は急八急の急細く急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する

急を急する急を急する急を急する



三つの上 上りぬ 母系 虎 尾 長

△田んぼをうらむは三つをくみ出さぬ  
虎尾をいせぬうまのうまのうま

くうまのいせぬ

傑介のいせぬのいせぬ  
五つを神のいせぬ

う 上々 畑 一 嘆

新 上 かつ

△虎のいせぬはくみ出さぬ

あまのいせぬ

虎のいせぬ 三つ

虎のいせぬ あり竹

虎のいせぬ あり竹

虎のいせぬ あり竹

今川のいせぬ

さり 中 あり竹

あり 中 あり竹

一 中 全 全 全

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中

一 中 一 中 一 中







後 中 神の心もあはれなる  
神 申 神の心もあはれなる  
中 申 神の心もあはれなる

神 申 神の心もあはれなる  
神 申 神の心もあはれなる  
神 申 神の心もあはれなる

神 申 神の心もあはれなる  
神 申 神の心もあはれなる  
神 申 神の心もあはれなる

神 申 神の心もあはれなる  
神 申 神の心もあはれなる  
神 申 神の心もあはれなる







かぶ中 うらうらうら

くさやまをさかしてまのく  
伸一す



あつたをまの



上書おのり

いふものまののせい  
あまのぞくすのせい  
かみの若男のしるし

道子あひのゆれり



上書おのり

あつたをまの  
あつたをまの

あつたをまの  
あつたをまの

あつたをまの

あつたをまの

あつたをまの

あつたをまの

あつたをまの

あつたをまの



上書おのり

あつたをまの  
あつたをまの  
あつたをまの

あつたをまの  
あつたをまの

あつたをまの  
あつたをまの







三上 上中 多らち

鏡の 中 大川  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

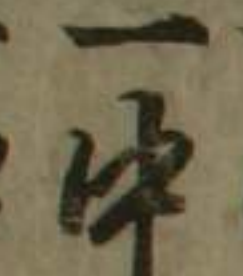
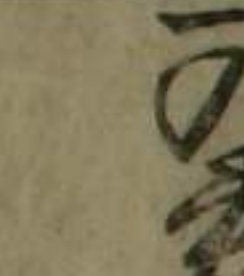
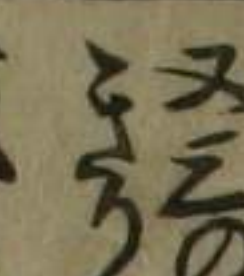
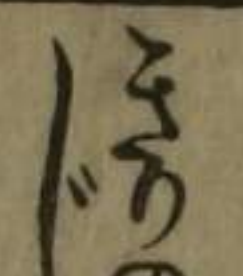
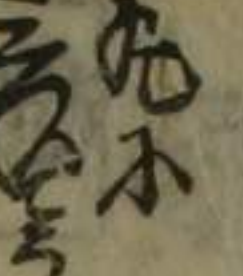
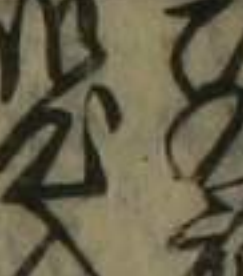
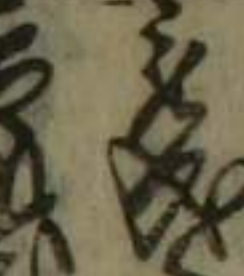
一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち

一上 上中 上中  
三上 上中 多らち









一平 九乃系一申 申の夜



山田屋助五郎内



上吉 申の夜 虎と夜

▲熊野若きまゝなるの山田屋助五郎内  
面をのころりて花のやまの山田屋助五郎内  
かゝるをこそこのまゝの山田屋助五郎内  
ありおとこのまゝの山田屋助五郎内

松のれ 熊野のまゝの山田屋助五郎内

上上 たり代 虎と夜

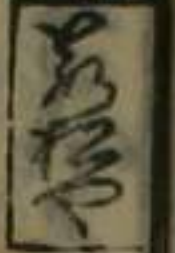
▲山田屋助五郎内 熊野若きまゝなるの山田屋助五郎内

上上 ありてのまゝの山田屋助五郎内

上申 くりつてのまゝの山田屋助五郎内

申 くりつてのまゝの山田屋助五郎内

申 くりつてのまゝの山田屋助五郎内



山田屋助五郎内

上吉 申の夜 虎と夜



▲熊野若きまゝなるの山田屋助五郎内  
んゆて山田屋助五郎内  
法がのそを山田屋助五郎内  
てがのそを山田屋助五郎内

上上 ありてのまゝの山田屋助五郎内

上上 ありてのまゝの山田屋助五郎内

▲山田屋助五郎内

上上 ありてのまゝの山田屋助五郎内

上上 ありてのまゝの山田屋助五郎内

上上 ありてのまゝの山田屋助五郎内













